

1. 動機

普段、私たちはプログラムのような形に残らないものを作ってきましたが、課題研究では形に残るものを作りたいと考えていました。

そんなときに課題研究の場でクレイアニメというものを作ることができるということを知り、ぜひこの機会に形に残るものを作りたいと思い制作することに決めました。

2. 研究内容

・ 作業期間

5月～11月：撮影

12月～1月：動画編集

・ 使用ソフト

Windows movie maker

└ Microsoft より提供されている動画編集ソフト

After Effects CC

└ Adobe より提供されているエフェクトソフト

Sound Engine Free

└ 音声編集ソフト

Blender

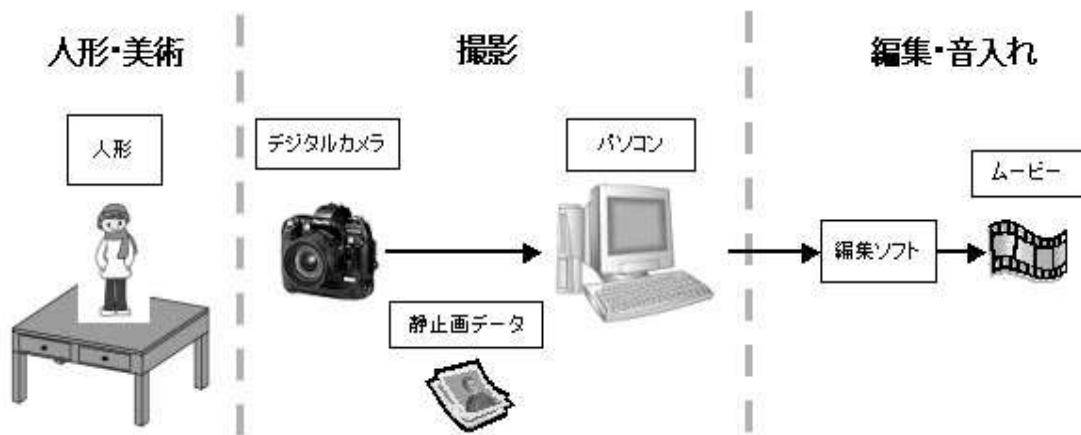
└ 3D アニメーション制作ソフト

・ 概要

クレイアニメのクレイである粘土、これにはいくつかの種類があります。

- ・油粘土
油脂ベースのため乾燥しにくく、繰り返し造形しなおすことができる。
- ・紙粘土
安価であり、加工しやすい。
- ・石粉粘土
乾燥後は石のような質感を見せる。乾燥後の彫刻にも適している。
- ・小麦粉粘土
幼児が誤って口にしても安全。
- ・シルバークレイ
銀粉を高い比率で含み焼成によって銀細工を実現できる。
- ・木質粘土
木の粉が配合されていて乾燥後は本物の木のようになる。
- ・蠟粘土
独特の透明感があり、手の熱で温めて使用する。
- ・プラスティシン
カルシウム塩、ワセリン、脂肪酸を合成して製造したパテ状のもの。ウォレスとグルミットで使用されている。

クレイアニメは主にプラスティシン（クレイ粘土）を使用し作成します。



1. ストーリー考案
2. 人形作成
3. 撮影
4. 動画編集
5. 最終調整



クレイトーン4色組 プライマリー



3. 感想

今回初めてクレイアニメを作成して、初めて体験する作業ばかりで苦勞することもありましたが、班員で協力しあって乗り切ることができました。

このことから改めて班員で協力することの大切さを感じました。この経験を忘れずにこれからも頑張りたいです。

キャラクター作成や背景作成、動画編集などとてもたくさんさんの難しい作業があっても慣れていない作業で何度も失敗してやり直しになったりもしましたが班員と協力しあって少しずつ制作し、完成させることができました。

完成したときにはとても感動しました。

今回の課題研究で初めて動画編集を経験しました。

初めての動画編集だったので自分の納得いくものとは程遠かったため、今動画編集の勉強をしています。

また、班員全員で作っているため僕の作業を遅らせるというわけにはいかないなので、しっかり責任を持つということを学べたと思います。

初めてのことなので手間取ることが多々あり、撮影には根気が必要でしたが完成したときに達成感がとてもありました。

課題研究という場で班員と協力することで何かを成し遂げるといえるのは社会にでも活かせることだと思います。

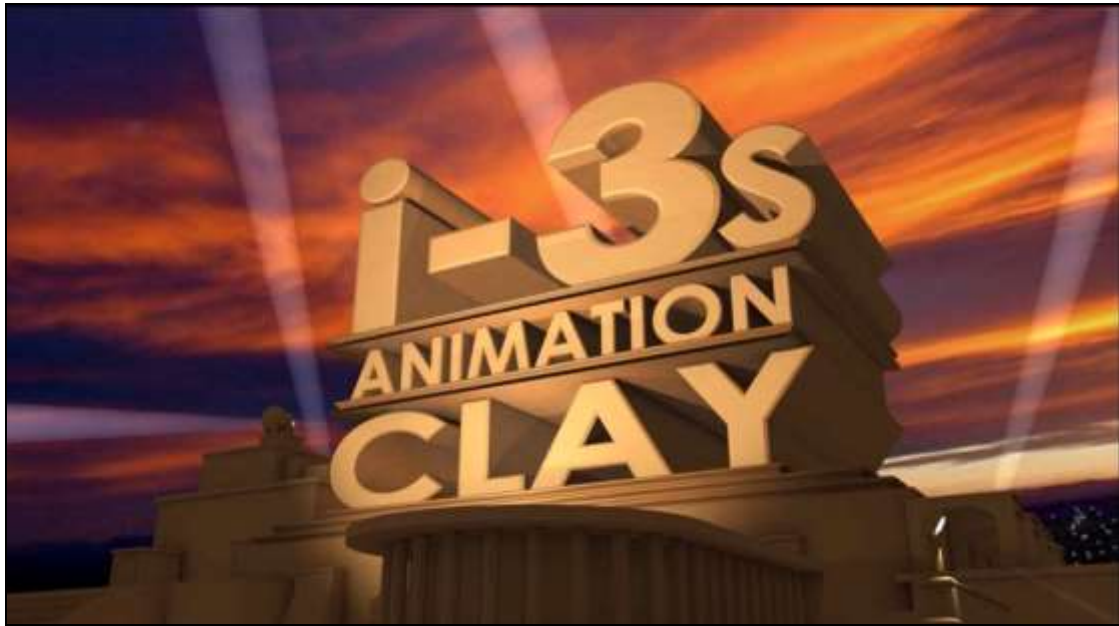
キャラクター作成や脚本作成などが思っていたよりも作業が難しく苦勞しましたが完成した時に得られた達成感は忘れられないものになったと思います。

これからも今回の課題研究で得られた経験を生かして頑張りたいです

4. まとめ

今回初めてクレイアニメを作って、キャラクターを粘土で作るのが思っていたよりとても難しく、印象に残っており、写真を撮るのに時間がかかってしまい大変でした。

しかし班員全員で協力しあって完成したとき非常に達成感がありました。



5. 参考文献

- ・【20th 風 OP 作成講座】20 世紀 FOX 風 OP の作り方
- ・「かめはめ波の作り方」(After effects)
- ・自作エンドロール作り方【プロが教える】1 | 基礎編 ムービーメーカー
- ・自作エンドロール作り方【プロが教える】2 | 応用編 ムービーメーカー